

酒井泰斗プロデュース

ブックフェア

いまこそ 事象そのものへ！

—現象学からはじめる書棚散策—

会期：2017年8月14日(月)～9月末

会場：紀伊國屋書店新宿本店 3階人文書レジ前

現象学を介して哲学を中心とする諸分野の良書を紹介

ブックフェアでは、「現代現象学の源流（ドイツ／フランス）」「真」「善」「美」「世界」「魂」「神」「政治と身体」「他人の心」「法と社会」「ケアと看護」「人生」「現代現象学のライバル」などのトピックに関連する書籍が紹介されます。これらを通じて「現代現象学」が何をもくろみ、そこにどのような可能性が拓かれているのかも示唆されるでしょう。

会場では、選書者たちによるそれぞれのトピックの解説を掲載した36頁のパンフレットが配布されます。解説文などは、紹介ページ（<http://bit.ly/201708fair>）でも順次公開されます。

■選書・解説：植村玄輝、八重樫徹、吉川孝、富山豊、森功次、村田憲郎、小手川正二郎、佐藤駿、武内大、宮原克典、新川拓哉、池田喬、前田泰樹、葛谷潤

■POP執筆：飯田隆、糸谷哲郎、岡本源太、加藤秀一、吉良貴之、戸田山和久、中山洋子、納富信留、ほか

■企画：酒井泰斗（ルーマン・フォーラム） ■協力：新曜社

■お問合せ：新曜社 03-3264-4973（代表）

■紹介ページ：「日曜社会学-ルーマン・フォーラム/エスノメソドロジー番外地」
(<http://bit.ly/201708fair>)



植村玄輝・八重樫徹・吉川孝 編著
富山豊・森功次 著
『ワードマップ 現代現象学
——経験から始める哲学入門』
新曜社、2017年8月



植村玄輝・八重樫徹・吉川孝 編著 富山豊・森功次 著

『ワードマップ 現代現象学 —— 経験から始める哲学入門』

新曜社、2017年8月14日 四六判並製318頁、定価:本体2600円+税



ふたたびフッサールとともに

現象学とは、この世界のなかでさまざまな対象に関わる私たちの「経験」を分析し、世界と私たち双方を理解しようとする試みです。いまこの経験を重視する方法論については、存在・価値とは何か、いかなる人生が善いのかといった哲学の問いには答えられないとする偏った理解もなされてきました。しかし今、これらの古典的かつ現代的な哲学の難問に取り組む現象学の洞察が再評価されています。本書は、実際に哲学の難問を相手取り、難解とされる現象学の手法を実演しつつ考察する柔らかな入門書です。世界と自分とを理解するため、豊饒な経験の海に漕ぎだす「現象学の旅」へ一緒に出てみませんか。

目次

まえがき

第1部 基本編

第1章 現代現象学とは何か

- 1-1 現象学の特徴
- 1-2 出発点としての経験
- 1-3 動物実験と現象学の意義
- 1-4 現代現象学のもくろみ

第2章 経験の分類

- 2-1 経験の現象学的な分類とは何か
- 2-2 知覚からはじめる経験の分類

第3章 経験の志向性と一人称性

- 3-1 経験の基本的特徴を問うとはどういうことか
- 3-2 経験の志向性
- 3-3 経験の一人称性

第2部 応用編

第4章 志向性

- 4-1 思考と真理
- 4-2 意味と経験
コラム フッサールのノエマ概念

第5章 存在

- 5-1 実在論と観念論
- 5-2 心身問題

第6章 価値

- 6-1 価値と価値判断
- 6-2 道徳
コラム 現象学とケア

第7章 芸術

- 7-1 音楽作品の存在論
- 7-2 美的経験、美的判断
コラム 現象学者たちの芸術論

第8章 社会

- 8-1 他人の心
- 8-2 約束
コラム 社会の現象学

第9章 人生

- 9-1 人生の意味
- 9-2 哲学者の生

あとがき

現代現象学をさらに学ぶための文献案内
索引

現象学を近づきにくいものとしてきた術語をいっさい使わず、経験の具体相から出発する、まったく新しい種類の入門書。心身問題から音楽作品の存在論、さらには人生の意味まで。

飯田 隆 (哲学、日本大学文理学部教員)

『ワードマップ現代現象学』刊行記念 ブックフェア概要

会場：紀伊國屋書店 新宿本店 三階 F26棚

(人文・社会ジャンル付近)

・営業時間：10:00～21:00

・税込5,000円以上の購入で配送料無料。
税込5,000円未満の場合は362円(税抜)。

会期：2017年8月14日(月)～9月末

お問合せ：新曜社 03-3264-4973 (代表)

